



中国の大学生に、日本語ビジネスの遠隔授業を実施。国際間の大学交流の新しい可能性を開きました。

星城大学

高度ネットワーク社会研究所

前所長 伊藤征一

略歴

早稲田大学卒業後、経済企画庁に入庁
国際連合事務局職員などを経て
IT 企業役員、業界団体理事を歴任
2004 年 4 月より星城大学
高度ネットワーク社会研究所所長
2011 年 3 月退職

伊藤先生は中央官庁や国際機関、IT 企業などでご活躍の後、星城大学経営学部で教鞭をとりながら、同大学高度ネットワーク社会研究所所長として、「通信ネットワークを利用した国際間の企業連携」の調査研究を行ってきました。その研究成果を、中国の大学生に日本語で教えるために、「manaba folio」を利用した「日中間の遠隔授業」を実施。そのねらいや効果について伊藤先生にお話を伺いました。

◆日中間の遠隔授業を行おうとしたきっかけは何ですか。

近年、通信ネットワークを利用して、中国にソフトウェア開発や事務処理業務のアウトソーシングを行い、人件費の削減をはかる日本企業が増えています。これはオフショアリングと言われるもので、中国ではオフショアリングに応えるために、日本語や IT の知識に優れ、かつビジネススキルがある人材がいっそう必要となっています。そこで、このような「日本語ビジネス人材」を育成するために、中国の東軟情報学院と大連外国語学院の2つの大学で日本語を専攻している中国人学生を対象に、日中間の企業連携をテーマにした遠隔授業を日本語で実施することを考えました。

◆「manaba folio」を利用された理由は何ですか。

教材には、授業を撮影した動画をパワーポイントのスライドと同期させたビデオコンテンツ(2 時間×3 本)を用意しました。もちろん、大学の授業ですから、単に教材を送って見てもらえばいいというものではなく、**教員と学生の間で「授業を円滑に進行させる仕組み」**も必要です。そこで、着目したのが「manaba folio」でした。課題の出題と回収、教師による評価、学生同士のレポート閲覧、質疑応答やディスカッションのための掲示板などの機能があり、遠隔授業に最適な管理システムとして活用できると確信しました。

◆遠隔授業における「manaba folio」のメリットを教えてください。

学生と直接会うことができない遠隔授業では、学生ごとに情報を貯められるポートフォリオ機能が役に立ちます。学生の自己紹介とレポートを同じ画面で同時に見られるので、**学生一人ひとりを思い浮かべながらコメントや評価をすることができる**わけです。また、「manaba folio」は、Web を使ったシステムなので、中国側の学生が新たなソフトなどを用意する必要がありません。学生は PC からインターネットを利用して「manaba folio」にアクセスするだけでさまざまな機能を利用できます。

◆中国側学生とのやりとりはどのようなものでしたか？

まず、授業用のビデオコンテンツを収めた DVD 教材を事前に中国側の学生に渡しておきます。日本の教員は「manaba folio」を使って、見る教材、課題内容、期限などを指示し、学生はそれにしたがってレポートを提出します。次に、教員は学生のレポートにコメントを書いて戻し、学生は教員のコメントに対して、さらに自分のコメントを書くといったプロセスで授業を進めます。また、学生も他の学生のレポートにコメントを書くことができます。これら一連の過程のすべてを「manaba folio」で進行させることができました。



大連外国語学院にて

◆掲示板はどのように利用されましたか？

遠隔授業に関する概要や実施要領、「manaba folio」の使い方の説明、スケジュールの確認など、各種連絡事項を掲示しました。説明会は中国で 1 度行っただけでしたので、**掲示板の詳細な情報やタイムリーな連絡**は学生にとって役立ったと思います。

◆「manaba folio」を利用した遠隔授業の今後についてどうお考えですか？

直接会ったり、話したりできなくても、「manaba folio」を使うことで、**一人ひとりと良好なコミュニケーションがはかれ、密度の濃い指導**ができるところが manaba folio のいちばんのメリットでしょう。今回の試行実験をベースに、他大学の先生方にも国際間の遠隔授業を行っていただき、その経験に基づくノウハウを共有できれば、優れた「日本語ビジネス人材」を育成する新しい道が開けるものと期待しています。

大学、国の枠を越えて「学び」を結ぶ

クラウド型ポートフォリオシステム



<お問い合わせ>

株式会社朝日ネット クラウドサービス部
東京都中央区銀座 6-6-7 朝日ビル
TEL: 03-3569-3010
Mail: manaba@desk.asahi-net.or.jp